

事業所名

発達支援ルーム ティンカー・ベル

支援プログラム（放課後デイサービス）

作成日

2025 年

3 月

17 日

法人（事業所）理念		『信じる心を持てば、ティンカー・ベルの魔法の粉で空をとべる』 保護者と共に子どもの成長を信じて発達支援を行う						
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・ひとりひとりの力を伸ばし、インリアルアプローチの観点を活かして豊かなコミュニケーションを築く ・それぞれの子どもの特性に応じた発達・学習支援を行う ・保護者に対して適切な支援のあり方を助言する 						
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・健康状態の把握。生活リズム、睡眠リズムを整え、体調や機嫌など自己管理できるように視覚的なスケジュールの提示、時間の意識づけを行う ・年齢に合わせた生活スキルの習得と向上に向け、衛生の意識、整理整頓、自分の物の管理ができるように支援する 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・体操、サーキット、なわとび、感覚統合などの全身運動を行い、体のバランス力、姿勢の維持する力、力加減など運動能力の向上につなげる ・学習や作業では個人にあった机とイスの使用し、正しい着席姿勢を意識できるようにする ・目と手先の運動や五感に働きかけることができるよう、調理・実験・制作・音楽・学習など行う 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールの確認により、時間や過ごし方を理解し自ら行動できるよう、視覚情報や視覚ツールを使用する ・ワークなどで数量、計算、重さ、大小、空間などが習得できるよう支援する ・毎回、子ども自身が目標を持ち活動を振り返ることで、自己認知力と自己選択・自己決定力につなげる 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが発信するサインに大人が適切に反応し、伝わった感覚を積み重ねたり、話したい、伝えたいというコミュニケーション意欲を高める ・少人数のかかわりの中で、相手の意図を理解したり自分の考えを伝えたりする支援を行う ・ひらがな、カタカナ、漢字の読み書きの力や語彙力が習得できるよう、ワークや体験と言葉の意味を結び付ける支援を行う 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの感情や気持ちに寄り添い、自己肯定感を持てるよう安心した信頼関係を育む ・集団で過ごすために大人や子どもたち同士の適切な声かけやことば遣い、気持ちのコントロール、約束やルールが理解できるようSSTを行う ・ゲームや役割分担のある活動を取り入れ、自分たちで話し合ったり解決したりする力を養う 						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・家族からの困り感、悩み、気づきなど利用時だけでなくいつでも話せる環境を作る ・子どもの状況や課題についての気づきを促し、家庭と協力して支援する ・保護者の不安がないよう、関係機関との連携による支援体制を構築する 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・学校・児童クラブなどへの情報共有 ・他放課後デイサービスとの連携 ・移行支援会議・カンファレンスへの参加 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・関係する放課後デイサービスや相談支援事業所に様子を報告するなど情報共有し、密な連携を図る ・地域の療育支援会議に参加 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・発達特性の理解、支援の手立てについて研修会で学び専門性を高める ・支援の中での気づきや変化は日々職員間で共有し、支援の改善、事例検討を行う ・法人内での各種委員会の研修 	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・季節に合わせた活動、外出や調理活動を実施 ・保護者にはペアレントプログラムやインリアルアプローチを実施 ・保護者向け研修会の案内 						